

令和7年度 府中市立府中第四中学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	・読みにおいて、文章中からそのまま抜き出すのではなく、内容をもとに自分で考えて記述すること。 ・文章や段落において何を伝えようとしているのかを読み取り、まとめること。	・個人、グループといった段階的な活動を基に、自分で考えることとクラスメイトの考えと比較することで学びを深めていく機会を作る。【対話・表現】 ・本文の要点やその根拠となる部分にチェックをするなどの読解の流れを可視化する機会を作る。【発見】		
数学	・基本的な四則計算や図形の基礎知識等、深い学びの土台となる知識技能を定着させること。 ・授業での学習内容を日常生活と結びつけるような活動を充実させること。	・ドリル的な演習だけでなく、自分の解答を他者に説明する活動を実施する【表現】 ・日常生活の中にある問題を課題とすることで、問題解決に数学が有用であることを生徒が実感できるような授業展開をする【発見・対話】		
理科	・自然事象に対する気付きから、問題を見だし、見通しをもって観察や実験を行うこと。 ・観察、実験結果をもとに科学的に探究する力を付けること。	・身近な事象を積極的に取り入れ、自ら疑問や問題を見いだせるようにする。【発見】 ・結果から学んだ知識に結び付け、他の生徒と話し合いながら自分の考えをまとめられるようにする。【対話・表現】		
社会	・資料を読み取り、自分の考えをまとめ表現する力を高める。	・活用する場面を授業中に設け、意見交換する機会の中で自身の考えを深めることができるようにしていく。【対話・表現】		
音楽	・表現の活動を充実させること。 ・感受の能力を伸ばすこと。	・具体的な達成事項を提示し、達成できた時の成就感を味わわせる。【決定・表現】 ・鑑賞において気づきのポイントが、明確になるようなワークシートを作成する。【発見・対話】		
美術	・美術に対して意欲的に取り組む生徒が多い。今後は、基礎的な表現力を育成していきたい。	・鉛筆の使い方や筆の使い方、絵の具の使い方、ものの見方など、今後作業していく上で必要な基礎基本の定着を図る。【表現・発見】 ・タブレットの活用や生徒同士の対話を通じて、発想を膨らませる時間を確保する。【表現・対話・発見】		
技術	技術に対して意欲的に取り組む生徒が多い。 ・身近な生活場面で、疑問や問題発見を自身で考えることが苦手である。 ・調べ学習では、ネット検索で出たものをそのまま活用しているため、誤った理解や自身が理解できていないことが多い。	・学習した知識・技能を実生活でどのように生かされているのか、具体的な例を提示しながら考えられるようにする。【発見・決定】 ・調べ学習では、AI 要約をなるべく利用せず、サイトから必要な情報を選択し、自身の意見をまとめられるようにする。【発見・決定・表現】		
家庭	・集中して授業に取り組むことができる生徒が多く、「食べる」ことが好きな生徒が多い。一方で、学んだことを実生活と結び付けて捉えることが苦手な生徒も多にいる。	・話し合い活動や体験活動を増やし、興味をもって授業に臨めるような授業展開を行う。 ・実生活に関連づけた「本時の目標」や課題を提示し、自分事として課題を捉えさせるようにする。【対話・表現・決定】		
保健体育	・運動部に所属している生徒などと運動経験が少ない生徒で運動能力が二極化している傾向がある。 ・得意な種目と苦手な種目が極端に分かれる生徒がいる。	・授業の振り返りの時間とすることで、自分の得意不得意を見つめて改善につなげられるようにする。【発見・対話】 ・単元ごとの基礎練習を楽しんでたくさんできるように、その種目に合ったものを考え実施させる。【決定・表現】		
外国語	・単語のみでの発音は上手くできる生徒が多いが、文を英語らしい発音で読むことは苦手とする生徒が多い。 ・やり取りにおいて、自分の考えを英語で伝えることができない生徒が多い。 ・音声と文字の一致ができていない生徒もあり、書くことを苦手とする生徒がみられる。	・教科書本文や英語の文を音読させる際には、リンキングやリダクションを意識させながら音読練習をさせ、英語らしい発音に対する意識づけや発見を促す。【発見】。 ・分からない表現はその場で調べさせ、使える場面で積極的に使わせることを徹底させ、毎授業での Chat を通じて表現方法を広げさせる。【対話・表現】 ・英語で話す活動と書く活動に一貫性を持たせ、検索機能などを多用せず自らの力で書く力を鍛えさせる【決定】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立府中第四中学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2 学期末	年度末
国語	・小学校で学習した漢字を普段の生活や作文で使うこと。 ・問いに対して自分の考えをもったり、相手の意見を聞いたりして自分の考えを広げたり深めたりする。	・書き取りのテストを繰り返し行い、力を定着させ、作文等で表現する際に役立てる。【表現】 ・授業の中で頻繁に自分の意見を書き、小グループでお互いの意見を聞き合う活動を行う。【表現・対話】		
数学	・基礎的な学習内容の定着を図ること。 ・問題文の読解力や説明する力を伸ばすこと。	・デジタル教科書やeライブラリ等を活用しながら、繰り返し取り組むことで、学習内容の定着を図る。【表現・決定】 ・話し合い活動や発表する時間を設け、自らの考えを伝える機会を増やしていく。【対話・表現】		
理科	・現象を科学的に考察し、正しく表現すること。	・実験を行う目的を常に意識し、目の前で起こっている事象についてポイントをしばって考査する。考察は、質問に答える形から、徐々に自らまとめる形に移行する。【対話・表現】		
社会	・資料で読みとった内容を基に議論する力。 ・社会的事象の具体から理論を推論する力。	・活用する場面を授業で設け、授業実践していくことで、議論や推論をできるようにしていく。【表現・対話】		
音楽	・表現の活動を充実させること。 ・感受の能力を伸ばすこと。 ・楽譜の知識を増やす。	・具体的な達成事項を提示し、達成できた時の成就感を味わわせる。【決定・表現】 ・鑑賞において気づきのポイントが、明確になるようなワークシートを作成する。【発見・対話】 ・音名、リズムに焦点を絞ったワークシートを作成する。		
美術	・様々な技法を知り、表現能力を高めていく必要がある。	・生徒同士で教え合える雰囲気大切に、その時間を意識的に確保することで、表現に幅をもたせる。【表現・対話・発見】 ・西洋絵画の技法を学んだり、技法をできるだけ具体的に丁寧に説明し、判断材料を増やしたりすることによって自ら主体的に取り組めるよう働きかける。【表現・発見】		
技術	・製作を主体的に行う生徒もいるが、人に聞いたり、真似をして行動する生徒が多い。 ・調べ学習では、ネット検索で出たものをそのまま活用しているため、誤った理解や自身が理解できていないことが多い。 ・個人で行う作業が多く、進度に個人差が出ることが多い。	・作業手順をより明確に示し、自身の進捗と次の作業が視覚的に把握できるようにしていく。【発見】 ・調べ学習では、AI 要約をなるべく利用せず、サイトから必要な情報を選択し、自身の意見をまとめられるようにする。【発見・決定・表現】 ・個人作業が伴う際には、作業工程と自分の進捗を視覚化し、現状を常に振り返るように確認する。【発見・対話】		
家庭	・家庭科に対する意欲が高い生徒が多く、作業への取り組みも素早い生徒が多い。一方で、裁縫に苦手意識をもっている生徒もあり、個別指導が必要な生徒もいる。	・被服実習では、小学校の復習を行ったり、具体物を提示したりして全体指導の方法を工夫し、作業工程を理解させ、安心して授業に取り組ませるようにする。 ・教え合い学習を促す。【対話・表現】		
保健体育	・運動を苦手としている生徒の中には、地道な練習を避けようとする生徒もいる。 ・自分で課題を見つけることが苦手な傾向がある。	・スモールステップの課題を提示し、達成感を感じさせ、積極的に授業に参加できるようにする。【決定・表現】 ・ICT機器を活用し、自分の動きを客観的に確認させ、課題や解決策等を話し合う時間を設ける。【発見・対話】		
外国語	・リンキングやイントネーションなど、英語らしい発音への意識が乏しい。 ・やり取りにおいて、自分の考えを即興で加えることができない生徒が多い。 ・英語を書くことに対し、検索してから書く生徒が多く、自信のない生徒が多い。	・デジタル教科書の音声や、モデル動画の発音を意識させ、リスニングやスピーキングへの意識づけ、発見を促す。【発見】 ・常活動での chat を継続し、わからない表現をすぐに調べさせることにより、表現法を広げる。【対話】【表現】 ・話すこと→書くことを繰り返し、スムーズに書ける力を養っていく。【決定】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2 学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立府中第四中学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	・漢字や文法など、基礎的な知識を身に付けること。 ・読解力を身に付けること。	・毎時間、小テストを行い、フィードバックする時間をつくる。【発見】 ・読解問題を単元の中に必ず含め、フィードバックする時間をつくる。【表現】		
数学	・証明問題などの思考・判断・表現を問われる問題を苦手としている生徒が多い。 ・授業内容と日常生活における事象とのつながりを実感できるような活動を充実させる。	・証明の流れを段階的に丁寧に押さえていくことで、理解につなげる。【表現】 ・日常生活における課題を解決することや数学が用いられているものを紹介するなど数学の有用性を実感できる授業を展開する。【発見・対話】		
理科	・知識から科学的考察につなげ、科学的、理論的にまとめる。	・日常的につながる課題を科学的に考えることで、考察力を身に付けさせる。【決定】 ・生徒間で実験の考察について話し合いを行い、思考の段階を共有し、表現方法を学べるようにする。【対話・発見・表現】		
社会	・社会的事象に対して、特に選択・判断に関わる演繹的推論や批判的思考について、授業中の取組や定期考査の結果から課題がある。	・学習指導要領で示される公民的分野の概念的枠組み（公正、民主主義など）を活用する場面を授業中に設け、事例研究を進めることで演繹的推論や批判的思考ができるようにしていく。【対話】		
音楽	・表現の活動を充実させる。 ・感受の能力を伸ばす。 ・楽譜の知識を増やす。	・具体的な達成事項を提示し、達成できた時の成就感を味わわせる。【決定・表現】 ・鑑賞において気付きのポイントが、明確になるようなワークシートを作成する。【発見・対話】 ・拍子、リズムに焦点を絞ったワークシートを作成する。		
美術	・作品制作に対して前向きに取り組む雰囲気は出ている。一人一人がもう一歩先の表現を求め、習得していく粘り強さが必要である。また、作品を制作する上で進度に大きな個人差ができてしまうことも課題である。	・これまで培ってきた基礎的な技能、表現能力を生かせる発展的な課題設定を心がける。個別指導の充実。進度の差については作品が完成するまでにいくつかのスモールステップを用意し、その都度足並みをそろえられるよう工夫する。【表現・決定】		
技術	・調べ学習では、ネット検索で出たものをそのまま活用しているため、誤った理解や自身が理解できていないことが多い。 ・問題発見や課題設定を、人の真似をして行動する生徒が多く、自身で考えることに繋がっていない。 ・知識で得たことを実生活に関連付けることが苦手である。	・調べ学習では、AI 要約をなるべく利用せず、サイトから必要な情報を選択し、自身の意見をまとめられるようにする。【発見・決定・表現】 ・問題発見などの課題解決プロセスを繰り返す行う。【発見・決定】 ・知識や技能が生活に関連していることを気付かせ、よりよい生活ができる工夫を考えさせる。【対話・表現】		
家庭	・家庭科に対する意欲が高い生徒が多く、特にものづくりを熱心に取り組む生徒が多い。一方で、説明した内容を理解せず取り組んで、失敗してしまう生徒がいる。	・振り返りシートを用いて、見通しをもたせてから取り組ませるようにする。 ・具体物を提示したり、プリントを工夫したりして、全体指導の方法を工夫し、説明を理解できる生徒を増やす。 ・教え合い学習を促す。【表現・決定】		
保健体育	・新体力テストの結果から、全国平均よりも低い傾向がみられる。 ・自分の意見をもっていても、相手に伝えることが苦手である。また、課題を見つけそれに合った練習方法を選択することが苦手な生徒が見られる。	・毎回の授業で種目に合った補助運動を行い、体力を高めていく。【発見・決定】 ・課題解決に向けての話し合いや、それに向けて行動や表現ができるような時間を設定する。【対話・表現】		
外国語	・話す力は身に付いてきている。その中でさらに自分の「意見」を話す力を練習する機会が求められる。 ・話す力と比べると、「書く」ことの取り組み機会が1、2学年で少なかった。英文を書くルールについても、身に付いていない部分が見受けられる。英文を書く機会をより多くもち、ルールの定着を含め、自己表現の機会を多く体験する必要がある。	・単元ごとに、生徒に身に付けさせたい力を設定し、授業内容をデザインする。 ・常活動において SMALL TALK や英作文などの取組を継続的に実施し、アウトプットの力を磨く機会とする。その中で特に、自分の考えを話したり書いたりする力の向上を図る。 ・「書く」ことについては、それぞれのテーマについてモデル分の提示を通して、全体の構成や有効な英語表現を知る機会を併せてもつ。【発見・表現・対話】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。